

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム寿生の家

作成日: 平成 24年 2月 20日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事が業者委託となっているため、「食を楽しむ」という意味合いが薄い。	食べたいものや懐かしいものを献立に入れた食事会の機会を多くし、生活の中で調理の匂いを感じたり、職員も共に「食」を楽しむようにする。	①食べたいものや懐かしい食べ物などを話題にし、情報を得る。 ②献立から買い物、調理までを行う食事会の回数を増やす。 ③おやつを手作りして楽しむ。	6ヶ月
2	20	入居前の人間関係や社会との関係が維持出来ている方がわずかしかない。	利用者本人が、それまでの人間関係や社会との関係が途絶えないような細かい支援を積極的に行う。	①本人や家族からそれまでの生活状況について詳しく聴く。 ②希望も含め継続できそうな事柄を把握する。 ②家族や地域への働きかけを積極的に行い、支援方法を検討する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。